



仙高の風

令和5年8月25日発行 第5号



本校では観葉植物「ユッカ(別名青年の木)」の鉢植えを各教室に置き、「生命のバトン」として代々受け継ぎ、大切に育てています。命の大切さを日々実感できるシンボルです。

北海道インターハイ剣道女子個人ベスト8！！



北海道帯広市で開催されたインターハイ剣道女子個人においてベスト8に入賞した3年武藤凛さん(写真左)に聞きました！**Q1**インターハイに出場した感想**A1**昨年は出場することができなかったインターハイという大きな大会に堀内葵(3年)と2人で出場することができ、とても良い経験をすることができました。全国の強い選手と試合することができ楽しかったです。

Q2試合を振り返って**A2**はじめてのインターハイ出場で緊張しましたが、1試合ずつ集中して試合を進めることができましたと思います。顧問の若松先生、そして2年間ご指導くださった前顧問の大嶋先生から教えていただいたことを全て出し切り、楽しく後悔のない試合をすることができよかったです。**Q3**最後に一言**A3**仙台高校に入学して、こうして仙台高校の剣道部としてインターハイに出場できてよかったです。このインターハイで得たものを、これからの稽古に生かし励んでいきたいです。

また、写真中央は3年堀内葵さんです。2回戦進出を果たしました！！写真右が顧問の若松実教諭です。

全国高等学校総合文化祭鹿児島大会文芸部門報告



仙台から直線距離で約千二百キロメートル。遙か遠い始良市で過ごした四日間は、夢だったかのように感じられる。▼一日目は文学研修に参加し、桜島の自然や仙台とはまた異なる鹿児島街並みを体感することができた。これぞありのまま、という緑の多さでありながら、人々の生活の息遣いが感じられる桜島の風景は、多くの生徒の思い出に残っただろう。バス内では、実行委員の生徒による心理テストや鹿児島クイズなどもあり、楽しませようとしてくれる工夫に胸が温かくなった。▼二日目は朝から全体交流会があり、各都道府県がチームになって鹿児島クイズに挑戦した。

実は私は同じ県の生徒ともあまり話したことはなかったのだが、このクイズ大会では楽しく交流を深めることが出来たと思う。決勝には上がれなかったが、見ているだけでも十分楽しむことができた。▼そしてこの日遂に、部門別分科会が行われた。私は文芸部誌部門に参加し、部誌の雛形作りに取り組んだ。指定された題材から部誌に入れるものを選び、それとは別に班ごとオリジナルの企画を組む。タイトルの置き方や作品の順番、全体の雰囲気などを考えることが重要になる。同じ班になった全員がこの日初めて会ったとは思えないほど話し合いを重ね、ギリギリまで時間を使いなんとか雛形は完成。班員のアイデアやデザイン力を結集させ、納得のいく物が作れた。▼分科会が終わってから特に連絡先を交換するようなことは無かったが、いつかまたどこかの大会で再会できたら素敵だと思う。▼初めて鹿児島の地に足を踏み入れ、不安もあったが、多くの学びや貴重な経験を得ることが出来た。全国に文芸を楽しむ仲間がいることが感じられた、良い四日間を過ごすことが出来たことを、とても幸せに思っている。(文芸部部長2年佐藤文菜さん)

令和5年度オープンスクール開催



7月28日(金)中学3年生を対象にしたオープンスクールが開催されました。午前・午後の二部構成で行い、合計で約660名の中学生に参加いただきました。第一体育館での全体説明会では生徒会や放送部が中心となり、日々の高校生活の様子や部活動の様子、学校行事での盛り上がりなどを動画やクイズ形式で紹介しました。校内見学・部活動見学では積極的に話しかける本校生の姿も見られ、仙台高校の魅力を発信する良い機会となりました。参加した中学生の皆さん暑い中ありがとうございました。





夏休み中は多くの部活動で練習試合や校外合宿等が行われました。以下、天文学部の活動報告です。「8月7日(月)・8日(火)福島県の猪苗代町周辺で地学巡検、天体観測を行いました。主に磐梯山に関する箇所を回り、実際に見ることで、より深い学びを得、部員同士の親睦を深めることができました。」(天文学部部長2年小野寺凜太郎さん)



本校では大学推薦を希望する生徒ひとりひとりに担当教員を割り振り、個別に面接・小論文指導指導等を行っています。



8月21日(月)夏休み明け全校集会が開かれました。岩井校長からはresponsibilityの語源に触れながら「お互いがそれぞれの立場で責任を果たすことにより、学校はより良いものになっていくのではないか」という言葉がありました。最後に夏休み中に開催された各種大会に参加した生徒へのねぎらいの拍手を全員で行いました。

ながら「お互いがそれぞれの立場で責任を果たすことにより、学校はより良いものになっていくのではないか」という言葉がありました。最後に夏休み中に開催された各種大会に参加した生徒へのねぎらいの拍手を全員で行いました。



9月1日(校内公開)、2日(本校保護者対象の一般公開のみ)に仙高祭が実施されます。文化部の展示やステージ発表はもちろんのこと、本校では毎年3年生クラスを中心に模擬店等を出店します。また、有志によるダンスパフォーマンスやバンド演奏も文化祭を盛り上げます。写真はその企画準備の様子です。



写真は8月9日(水)本校ラグビー部のInstagramからの切り抜きです。以下投稿の文面です。「今回3泊4日の菅平夏合宿ではチーム・個人の課題を明確にし、どのようにしたら仙台高校ラグビー部らしい良いプレーが出来るのかを考えました。(中略)チームテーマである『楽果成』の意義に近づいた4日間になりました。また1ヶ月後には花園大会宮城県予選があります。この菅平夏合宿で得たものを無駄なくすべての今後の練習、生活に活かし、仙台高校ラグビー部一同『楽果成』を追究していきます。文:マネージャー」Instagram sendai_rugbyで検索してみてください。日々の活動の様子を伺うことができます。



8月3日(木)教職員研修会が実施されました。これは日々の授業改善に向けた取り組みの一つで、参加した職員は熱心に講義、ワークショップに参加していました。



7月21日(金)に本校吹奏楽部が「フライデーBRANCH 仙台ミュージックナイト・夏フェス」に参加しました。このイベントは地域の学生を中心とした音楽活動で年4回実施されるものです。本校以外では泉館山高校、仙台城南高校、東北福祉大学も参加していました。

第3回全国高校生プレゼン甲子園に応募した2年生女子チーム(女川夏央さん、西城葵陽さん、山岸怜さん)が、全国616チーム中21チームに残り北海道・東北大会優秀賞を受賞しました。「津波から子どもの命を守りたい」というテーマを、ICTを上手に使い、説得力のあるプレゼンを行いました。



7月21日(金)付で発行された本校のPTA会報『水平線』(105号)です。PTAの調査広報委員会が中心となり、取材を行い、内容、紙面構成等行います。今回は岩井校長の特集が紙面の中心を飾っていました。広く多くの方に親しまれるよう、毎号趣向を凝らした企画内容となっています。

〒 981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1 担当:主幹教諭 阿部頼人
Tel 022-271-4471 URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。